

1/30
(土)

ツルの北帰行 元気で帰ってね!

出水市で越冬しているツルの北帰行が1月18日から始まりました。今季は羽数調査で歴代最多の1万7,315羽が出水平野で確認されました。

晴天に恵まれた1月30日の行人岳山頂では、午前9時前から北帰行を見届けようとカメラマンや家族連れが集合し、県外ナンバーの車も多く見られました。

この日は、マナヅル1,025羽が複数の群れに分かれてシベリア方面へ旅立ち。山頂上空で鳴き声を響かせながら旋回すると、歓声が起こりました。

出水市から撮影に訪れた榎木丸健一さんは「『元気で帰ってね!』と願い、シャッターを切った」と満足げでした。北帰行は3月いっぱい続きます。



シベリアへ旅立つツル

2/2
(火)

平尾中学校で郷土教育 未来のためにふるさと学ぶ



生徒たちの前で講演する山崎さん

平尾中学校(松久保謙太郎校長・35人)では、2月2日、平尾区長の山崎友喜さんを招き、平尾地区の歴史などを学ぶ講演会がありました。

全校生徒が参加した今回は、集落名の由来や史跡、平尾の著名人、特産品などについて説明があり、生徒たちは興味深い様子で聞き入っていました。

山崎さんは「中学卒業後は町外へ進学することになるが、平尾のことを少しでも知ってほしい」と訴え、3年生の渡^{ゆづゆ}柚結さんは「生活する土地の歴史を調べ、偉人たちの生きかたを参考にしたい」と抱負を述べました。

2/3
(水)

長島中で情報モラル教育 ルール作りが大切

長島中学校(石垣健二校長・89人)では、2月3日、全校生徒と保護者を対象に情報モラルの講演会を開催しました。

スマートフォンなど情報端末の利用が低年齢化する中、親の関心を高め、家庭でのルール作りを呼び掛けるもので、今回は志學館大学の松本宏明准教授を招き、生徒と保護者向けの講演会をそれぞれ行いました。

生徒の部では、ネット依存が引き起こす体への影響などが説明され、スマートフォンを触らない時間

を増やすなどの工夫を松本准教授は勧めました。

3年生の原田文花さんは「動画を見る時間が増えないように、自分をコントロールできるようになりたい」と話しました。



生徒の部で講演する松本准教授